

## 新着情報

- 2012年度、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されてから6年、2017年度からは第2期の指定を受け、学校の目指す方向が明確になっている。研究を通して生徒全員が人前でプレゼンテーションできるように成長していく環境。
- アメリカシカゴ農業高校と姉妹校提携・イリノイ州立大学と交流協定を締結。米国海外研修を実施し、アメリカの高校・大学で研究発表、ホームステイを行う。また、イタリアのラザロスパランツァーニ高校やフィリピンのフィリピン大学付属ルーラル高校とも姉妹校提携し、同様に4～7名程度の海外研修を実施している。
- 「SSグローバル英語」導入。全生徒が英語によるプレゼンテーションに取り組む。広大留学生から発音や発表の際の注意点を指導。GTECテストにもチャレンジ。
- 「小・中学生のためのスーパーサイエンス講座」開講。小・中学生に科学体験。参加者に大好評。
- 「SS課題研究Ⅰ・Ⅱ」導入。研究成果を「日本土壌肥科学会」、「日本動物学会」及び「日本分子生物学会」等で研究発表。全国の研究者や大学関係者から「高校生とは思えない。素晴らしい」と賛辞。
- 例年、卒業生の80%が進学、30名前後が国公立大学へ進学。卒業時の進路決定率100%
- オープンキャンパス約900名参加。ここ数年受検倍率も安定している。
- 野球部は甲子園出場経験を持つ監督の指導のもと、甲子園への道を歩んでいる。陸上部とともに伝統復活の兆し。長距離は三原五中を全国大会に3度導いた監督を招いて強化している。短距離及び跳躍の指導者は国体のコーチを、投てきの指導者は国体の監督を務めている。
- 食堂・部室・資料館の複合施設である「育命会館」がリニューアル。食堂のメニューも一新される。
- 西農三訓「挨拶励行・時間厳守・整理整頓」による社会で通用する人材育成を実践。全国から視察に来られ、各方面から絶賛。
- 2019年度入学生からフィリピン・セブ島での海外研修旅行を実施する。

## 入試結果

### ◆園芸科

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	40名	20名	28名	1.40倍	20名	14名	0.70倍	—	—
2019年度	40名	20名	25名	1.25倍	20名	20名	1.00倍	—	—
2020年度	40名	20名	20名	1.00倍	20名	23名	1.15倍	—	—

### ◆畜産科

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	40名	20名	32名	1.60倍	20名	30名	1.50倍	—	—
2019年度	40名	20名	19名	0.95倍	20名	15名	0.75倍	—	—
2020年度	40名	20名	29名	1.45倍	20名	27名	1.35倍	—	—

### ◆生活科

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	40名	20名	18名	0.90倍	20名	21名	1.05倍	—	—
2019年度	40名	20名	29名	1.45倍	20名	19名	0.95倍	—	—
2020年度	40名	20名	35名	1.75倍	20名	23名	1.15倍	—	—

### ◆農業機械科

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	40名	20名	36名	1.80倍	20名	33名	1.65倍	—	—
2019年度	40名	20名	21名	1.05倍	20名	20名	1.00倍	—	—
2020年度	40名	20名	30名	1.50倍	20名	21名	1.05倍	—	—

### ◆緑地土木科

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	40名	20名	25名	1.25倍	20名	19名	0.95倍	—	—
2019年度	40名	20名	28名	1.40倍	20名	21名	1.05倍	—	—
2020年度	40名	20名	30名	1.50倍	20名	23名	1.15倍	—	—

### ◆生物工学科

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	40名	20名	23名	1.15倍	20名	26名	1.30倍	—	—
2019年度	40名	20名	27名	1.35倍	20名	17名	0.85倍	—	—
2020年度	40名	20名	23名	1.15倍	20名	25名	1.25倍	—	—

### ◆食品科学科

	募集定員	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ			選抜Ⅲ	
		定員	受験者数	倍率	定員	受験者数	倍率	定員	志願者数
2018年度	40名	20名	27名	1.35倍	20名	25名	1.25倍	—	—
2019年度	40名	20名	22名	1.10倍	20名	9名	0.45倍	—	—
2020年度	40名	20名	44名	2.20倍	20名	32名	1.60倍	—	—

## 2021年度募集要項

### ◆選抜Ⅰ

- <募集定員> 各20名(50%)
- <選抜方法> 調査書・面接+小論文

>>2020年度入試実施状況<<

- <小論文> 50分・500字以内
- <面接> 10分～15分  
集団面接(先生3人:生徒3人)

### ◆選抜Ⅱ

- <募集定員> 各20名(50%)
- <傾斜配点> —
- <学力:調査書> 125点:130点/面接45点
- <全員面接> あり(10分～15分)  
集団面接(先生3人:生徒5人)
- <実技検査> —

## 学校情報

### ●入試について

- 小論文は例年農業や環境に関するテーマが出題される。入学後取り組みたいことを農業と関連づけて明確にしておく。
- グラフを読み取る問題では、気付いたことはすべて記入すると、得点に加算される。
- 選抜Ⅰでは元氣よく対応すると好感度が高い。部活動やSSH研究・海外研修への意欲を示すことが重要。
- 選抜Ⅱでは第3希望まで記入。第1希望に不合格でも他学科合格のケースもあるので、必ず記入しておく。
- 各学科定員割れでも基準に満たなければ不合格となる。
- 選抜Ⅱの面接では、意欲を評価。質問事項は一般的な内容。

### ●スーパーサイエンスハイスクール(SSH)について

- 将来の国際的な科学技術系の人材を目指して文部科学省が指定。
- 県内公立高校では唯一の指定校である。
- 年間約900万円の予算が組まれ、遺伝子組換えなどのバイオテクノロジーや発酵、食、環境、バイオマスエネルギー等の高度な研究を広島大学や酒類総合研究所、産業技術総合研究所、(株)タカキベーカーリー、(株)サタケ等との連携をもとにおこなわれる。
- 農業と理科を合わせた「アグリサイエンス」、農業を科学する「SS課題研究Ⅰ、Ⅱ」を学ぶ。
- 海外の研修会への参加や英語での研究発表をおこなうため「SSグローバル英語」の授業を強化。
- すべての学科や自然科学部がテーマを持って研究。英語でプレゼンテーション。
  - [園芸科] 環境不適地における高品質農産物栽培と検証試験
  - [畜産科] 鳥類の性決定・性分化に影響を及ぼす要因についての研究
  - [生物工学科] 遺伝子組換え技術を用いた環境ストレス耐性植物の作出に関する研究
  - [食品科学科] 環境条件が酵母の生育に与える影響
  - [生活科] 口腔機能とのかかわりにおける食品物性の研究等テレビや新聞等でよく取り上げられている。

### ●授業・コースについて

- 3年次より、共通科目主体のAコースと専門科目主体のBコースに分かれる。
- SSH指定により学校独自の科目(アグリサイエンス、SS課題研究、SSグローバル英語)を実施。

### ●資格について

- 卒業までに平均5～6の資格を取得。どの学科からでも大半の資格を取得できる。
- 取得可能資格は測量士補・危険物取扱者・基本情報技術者・電気工事士・ワープロ実務検定・情報処理技能検定・土木施工技術者・工事担任者・ボイラー技士・簿記・介護職員初任者研修・秘書検定など。
- 検定対策補習を実施。

## クラブ活動

- 体育系 野球/サッカー/ソフトテニス/バレー/剣道/合気道/バスケットボール/陸上競技/卓球/弓道/ハンドボール/空手道/バドミントン/馬術
- 文化系 吹奏楽/芸術/生活芸術/自然科学/放送/ESS/写真/JRC/新聞文芸/写真/アニメーション/和太鼓

## 進路実績

大学の合格実績については、現役生の合計人数。

	広島大	県立広島大	国公立合計	近大工学部	広島国際大	私大合計	短大	専門学校	就職	就職率
2018年度	2名	2名	21名	7名	3名	82名	20名	60名	70名	100%
2019年度	0名	3名	19名	6名	13名	99名	14名	62名	73名	100%
2020年度	1名	5名	24名	9名	6名	81名	22名	59名	76名	100%

### ●大学・企業との連携について

- 広島大をはじめ近畿大・県立大・国際大とタイアップ。大学教員を招いての最先端の内容を授業。単位に認定される。公開講座の受講者数は県内随一。

### ●進路に向けて

- 国公立ガイダンスや小論文ガイダンス、就職ガイダンスなどきめ細やかな進路指導を実施。
- チューター制により生徒一人一人に対して複数の先生が目標達成に向けマンツーマンで指導。
- 生徒全員が100%進路決定。約80%が大学・専門学校へ進学。推薦・AO入試の大学合格率80%。農業高校では国公立大学合格者日本一。
- 大学入試センター対策補習を実施。
- 就職希望者の内定率は例年100%。2年次からの職場体験を通して意識を高める。就職希望者約60名に対し、300社以上の求人がある。

### ●部活動について

- 馬術部・空手道部・陸上競技部が全国大会出場。合気道部は全国優勝。ソフトテニス部・弓道部が中国大会出場。陸上部は専用の公認400メートルトラックで練習。加入率は98%。
- 硬式野球部・陸上競技部・空手道部など実績のある指導者を招いて強化。甲子園やインターハイを目指す。
- 自然科学部が第43回全国高等学校総合文化祭にて全国2位にあたる優秀賞を受賞。

### ●その他

- 西農ブランド商品の開発に取り組み。西農市場で一般への販売まで行う。
- 芸予地震で損壊の校舎を国庫支援により再建。公立では最高レベルの設備を整備。メディアセンターやバイオ棟、動物科学棟など最先端の設備が充実。
- 学校の総敷地面積はマツダスタジアム11個分。県内一の広さを持つ。
- 男女比は男子55%、女子45%。
- 生徒全員が来訪者に挨拶をしてくれる。
- フィリピンやモルディブ、ベトナム、エジプト、パラグアイ、韓国等から視察。研究水準の高さに驚かれる。
- 入学後の江田島宿舎で、徹底的に規範意識を養う。生活指導はかなり厳しく、教育関係者からは「奇跡」とよばれており、全国の高校からも視察に来られる。